

# 第5回 日本脆弱性骨折ネットワーク プログラム

■ 日時 平成29年3月10日（金）～12日（日）

■ 会場 新潟市民プラザ（NEXT21 6F）

※12日(日)の会場は、ホテルイタリア軒5階「トリノ」となります

			単位申請			
			日本 整形外科学会	日本骨粗鬆症学会 認定医 マネージャー		日本理学 療法士協会
3月10日 (金)	15:00～ 16:00	多職種連携セミナー 第1部 「病院におけるリエゾンサービスの実態と課題 マネージャーとしての役割」				
	16:00～ 16:30	多職種連携セミナー 第2部 「骨粗鬆症マネージャー 何ができるか？どこを目指すか？その成果と悩み」				
	16:30～ 17:30	グループワーク 共催：新潟県骨粗鬆症骨折対策事業連絡協議会（新潟大学大学院歯学総合研究科 地域医療長寿学講座） 『病院における骨粗鬆症リエゾンサービスの構築に向けた障壁と挑戦』 病院でのリエゾンサービス構築のため何が必要か？ 解決すべき課題とは何か？				
	17:40～ 18:40	イブニングセミナー1 「新潟県における大腿骨近位部骨折発生状況の推移と現在の取り組み」	[ 4 ]			
	18:40～ 19:40	イブニングセミナー2 「大腿骨近位部骨折発生抑制のための薬物治療」	[ 4 ]、[ 1 ]			
	20:00～ 21:30	情報交換会（ホテルイタリア軒）				
3月11日 (土)	8:30～ 9:00	共催セミナー1 「フォルトテオ治療の新知見とBest Practiceへの貢献」				
	9:00～ 9:30	セミナー1 「大腿骨近位部骨折に対する手術のタイミングと抗凝固療法への対応」	[ 2 ]			
	9:30～ 10:00	セミナー2 「hip fracture 周術期に発生する疾患と全身管理の基本」	[ 1 ] [ 1 ]			
	10:10～ 11:10	特別講演 共催：新潟県骨粗鬆症骨折対策事業連絡協議会（新潟大学大学院歯学総合研究科 地域医療長寿学講座） 「NHFDの取り組み Global FFNからの報告と方向性」				
	11:10～ 11:40	共催セミナー2 「大腿骨近位部骨折を防ぐためのエビデンス -ゾレドロン酸年1回製剤の適応を考える」	[ 4 ] [ 7 ]		参加 10ポイント	参加 2ポイント
	11:40～ 12:10	共催セミナー3 「骨粗鬆症性椎体骨折 保存治療成功の鍵と手術適応のポイント」		5単位	3単位	
	12:20～ 13:20	ランチョンセミナー 「脆弱性骨折における大腿骨頸部・頸基部骨折に対する新しいインプラントの開発と臨床成績」	[ 2 ]		演題発表 5ポイント	発表 1ポイント
	13:30～ 14:15	共催セミナー4 「大腿骨転子部骨折手術における内固定の選択と術中整復のコツ」				
	14:15～ 16:35	一般演題（口演発表） ①脆弱性骨折治療 ②骨折一次予防・二次予防とリエゾンサービス ③リハビリ&転倒予防 ④骨粗鬆症医療連携				
	16:35～ 17:35	一般演題（ポスター討論）				
17:35～ 18:45	ラウンドテーブルシンポジウム 「Hip fracture best practiceへのアプローチ」 『共通指標の共有化と見える化』～地域連携のための骨粗鬆症性骨折の治療と予防に関する共通指標の共有化と公開性～ ・地域連携クリニカルパスの過去・現状・未来 ・大腿骨近位部骨折治療において骨粗鬆症リエゾンサービスが果たす役割 ・大腿骨近位部骨折診療ガイドラインからの提言－早期手術、周術期連携の重要性－					
19:30～ 21:00	全員懇親会					
3月12日 (日) (※会場ホテルイタリア軒5階「トリノ」)	8:30～ 9:00	モーニングセミナー 「クリニックにおけるOLSの実践とフォルトテオ導入と継続のコツ」				
	9:00～ 9:30	共催セミナー 「外来診療における骨粗鬆症リエゾンの成功の道筋」				
	9:30～ 10:30	グループワーク 共催：新潟県骨粗鬆症骨折対策事業連絡協議会（新潟大学大学院歯学総合研究科 地域医療長寿学講座） 『クリニックにおけるマネージャーの役割』患者さんの求めるもの				